

消火器 蓄圧？加圧？ 何？ - 西日本防災システム

平成23年9月に消火器の規格や点検方法が改正されました。 ➡ こちらを参照してください

これは老朽化した消火器による事故が多発したことによるもので、表示項目の徹底や容器の耐圧試験などが追加、改正されました。その中で容器の耐圧性能を確かめることも重要なのですが、放出方式による検討もされました。

加圧式 ハンドルを握ることにより加圧ポンペを破封し、その圧力で消火薬剤を放出する方式

問題点 一気に容器内の圧力が高まるため、容器本体に劣化部分があると、断裂などの事象が発生する恐れがあります。

蓄圧式 常に内部に薬剤放出に必要な圧力を溜めておく方式で、ハンドル付近に付いた圧力計でその良否がわかります。

利 点 一気に暴発する事象は防ぐことができます。圧力計の確認により容器各部分の良否判断が可能になります。

蓄圧式



加圧用ポンペ



加圧式

指示圧力計

内部には0.7MPa-0.98MPaの圧力が蓄圧されています

蓄圧方式が主流となりそうですね！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ ➡